

平成 30 年度 事業報告書

1 茶の生産・流通等の概況

(1) 平成 30 年産のかごしま茶は、3 月から 4 月上旬の気温が高めに推移したことから芽伸びが一気に進み、近年では最も早い生産開始となった。全茶期を通して、前年並みから増収で推移した結果、平成 30 年産の荒茶生産量は、過去最高だった前年を上回る 28,100 トン(前年比 108%)となった。栽培面積は、8,410ha(前年比 99.8%)だった。

(2) このような中、県茶業振興大会の開催、県茶品評会の実施などによる県茶業振興対策について推進するとともに、全国組織・関係機関と連携し、国内の茶業振興・緑茶の普及拡大に努めた。

また、かごしま茶ふれあい事業については、日本茶インストラクター協会等関係機関・団体と連携強化して、小中学校等でお茶の入れ方教室を開催し、また、平成新茶まつり等イベントの開催、かごしま百円茶屋の継続的出展、輸出対策実施本部を中心とした海外への輸出対策の推進等、かごしま茶の知名度向上と国内外における販路拡大に努めた。

(3) さらに、県茶市場の円滑な運営と債権損失補償事業の適正な運営に努め、かごしま茶の円滑な取扱と流通拡大に努めた。

2 かごしま茶流通拡大対策事業（公益目的事業）

(1) 茶業振興対策事業

ア 県茶業振興大会事業

a 県茶業振興大会

・大会式典 : 2 月 26 日 鹿児島サンロイヤルホテル

b 県品評会及び茶経営改善コンクール

・審査会 : 9 月 5 日～6 日

・出品数

普通煎茶 : 100 点(H29 105), 深蒸し煎茶 : 100 点 (129), 経営改善 : 37 点(42)

・産地賞

普通煎茶 : 南九州市 深蒸し茶 : 錦江町 経営改善コンクール : 志布志市

C 茶業功労者表彰事業

・茶業功労者表彰委員会 : 7 月 25 日

表彰状 11 名、感謝状 2 名、功労賞 1 名

イ 全国関係団体連携事業

a 茶業中央会事業（(公社)日本茶業中央会）

・平成 30 年度茶業功績者表彰委員会 : 9 月 25 日、東京茶業会館
本県から森山俊裕氏と佐藤昭一氏を推薦し承認

・緑茶表示適正化委員会

・日本茶輸出協議会、輸出戦略実行事業茶部会との連携

b 全国お茶まつり等助成事業

・第 72 回全国お茶まつり

全国お茶まつり式典・お茶フェス：12月14日～15日 東京日本橋プラザ
 全国茶品評会：審査会：8月28～31日，(株)静岡茶市場
 普通煎茶10kgの部：産地賞（霧島市）、特別賞（5名受賞）
 入札販売会：9月20日 (株)静岡茶市場
 全国茶生産青年の集い：11月30日 茶審査技術競技会，茶業青年の夕べ
 ・日本茶アワード開催への協賛

C 茶業情勢に関する検討会：5月18日 ウェルビュー鹿児島
 ・一番茶の生産・販売状況等に関する意見交換

ウ かがしま茶情報発信事業

- a かがしま茶通信 3回発行：(6月，10月，1月)
- b 生産履歴開示の推進
 - ・開示点数 39,922点（平成29年度42,846点）
 - ・平均開示日数 12.4日（平成29年度15.7日）

(2) かがしま茶ふれあい事業

茶業専門家の緑茶の普及活動や若者の緑茶とのふれあいを支援するほか，専門店・消費者へのかごしま茶の認知度向上などの活動を通して，日本の食文化における緑茶の普及定着と安全，安心でクリーンなかごしま茶の流通の拡大を図った。

ア 消費者お茶ふれあい事業

- a 日本茶インストラクター協会支部活動支援
- b 茶業青年団活動支援 ～かがしまCHAガールの活動支援
- c 子ども達等のお茶とふれあい活動支援 ～県茶業青年の会等の活動支援
- d かがしま百円茶屋の展開 11回（計画12回）

《平成30年度かがしま百円茶屋出店実績》

月 日	イベント名	場 所	産地・出店者
4/22(日)	東京新茶キャンペーン	清泉女子大	JA かがしま茶業
5/2(水)～3(木)	東京新茶呈茶	井の頭公園	JA あおぞら
5/19(土)～20(日)	博多駅新茶キャンペーン	J R九州博多駅	JA いぶすき・茶商協
5/26(土)～27(日)	仙巖園呈茶	仙巖園	
6/30(土)～7/1(日)	かがしま百円茶屋	川崎アゼリア	霧島市
7/7(金)～8(土)	かがしま百円茶屋	かがしま遊楽館・合歓の広場	志布志市
8/17(金)～18(土)	かがしま百円茶屋	大阪・天神橋筋商店街	南九州市
9/29(土)～30(日)	かがしま百円茶屋	川崎アゼリア	日置市
10/12(金)～14(日)	かがしまフェア	イオンモール名古屋茶屋店	曾於市
11/10(土)～11(日)	かがしま百円茶屋	かがしま遊楽館・合歓の広場	鹿屋市
12/8(金)～10(日)	かがしま百円茶屋	川崎アゼリア	錦江町

e 新茶キャンペーンイベント

- ・鹿児島空港新茶キャンペーン 4月28日・29日
- ・平成新茶まつり(アミュ広場) 5月12日・13日
 来場者数 27,000名 百円茶屋 1,650名(第2位) 売り上げ 4,901千円(第3位)

f お茶一杯の日等イベントの開催

- ・お茶一杯の日・かごしま 2018 : 11 月 23 日 アミュ広場
- ・市民公開講座 鹿児島市医師会館
- ・T-1 グランプリ (県茶業青年団) : 11 月 25 日 イオンモール鹿児島

g かごしまお茶大使の委嘱 6 名 ~PR 用お茶等の提供 3 回

イ かごしま茶知名度向上対策事業

- a 電照看板等の設置 2 カ所 (鹿児島空港出発ロビー, 鹿児島中央駅新幹線コンコース)
- b マスコミによる PR 等
 - かごしま茶の消費拡大テレビ CM (4 月~12 月 週 1 回 MBC)
 - かごしま茶の消費拡大ラジオ CM (3 月~2 月 週 2 回 MBC)
 - お茶一杯の日告知広告 (新聞、テレビ) 他
- c かごしま茶宣伝資材の作成 : のぼり、PR 用リーフレット、パンフレット他
- d 県知事への新茶贈呈 : 5 月 9 日 (水)

ウ 販売協力店等対策事業

- a 求評会開催事業
 - ・新茶販売会 : 4 月 13 日 (金) 静岡、東京
 - ・かごしま茶宣伝販売求評会 : 11 月 13 (火)~16 (金) 東京・静岡・京都・福岡
- b 販売協力店の強化
 - ・販売促進フェア 2 回実施 : (応募総数 春 2,841 通、秋 2,333 通 計 5,174 通)
販売促進資材の提供, 「鹿児島の特産品」プレゼント
 - ・販売協力店へ季節の草花提供 :
 - 6 月 ひまわり (志布志市・60 店舗)
 - 11 月 茶枝 (南九州市・53 店舗)
 - 1 月 梅枝 (さつま町・9 店舗)

エ かごしまブランド確立事業

- a クリーンなかごしま茶づくりの推進 : 県茶生産協会へ助成
- b 茶のかごしまブランドの推進
 - かごしまブランド確立推進委員会 (書面)
- c かごしま標章茶の推進
 - ・かごしま標章茶審査会 : 2 回 申請 8 点、指定 8 点
- d 「かごしま茶」の販売戦略の検討
 - ・検討会の開催 10 月 26 日
 - ・かごしまお茶マルシェの開催 11 月 3 日~4 日開催

オ かごしま茶輸出対策事業

- a かごしま茶輸出対策実施本部等の開催
 - ・かごしま茶輸出対策実施本部会 : 1 回開催 (12 月 21 日)
 - ・プロジェクト委員会 : 1 回開催 (7 月 13 日)
- b かごしま茶輸出サプライチェーンの推進
 - ・プロジェクト委員と肝属地区との現地検討会 12 月 11 日 鹿屋市

《 サプライチェーンシステム実績 》

(単位：ha, t,)

区分 登録	登録(累計)			茶市場取扱実績				
	荒茶工場	生産者	茶園面積	一番	二番	三番	他	計
平成26年度	90	128	243.0	1.9	1.3	1.0		4.2
平成27年度	119	168	313.6	13.8	8.0	3.0	1.9	26.7
平成28年度	127	187	367.9	21.8	12.4	7.7	7.6	49.4
平成29年度	129	194	384.1	14.6	6.4	6.2	6.4	33.6
平成30年度	131	196	369.1	12.0	7.5	4.6	1.2	25.3

c 少量散布機ドリフト調査と残留農薬調査

- ・実証ほの設置：4戸，設置面積225a
- ・検討会の開催：2回（6月20日、11月5日）

d 海外におけるかごしま茶のPRと販路の開拓・確保

- ・茶商による商談活動の支援：海外商談会の参加等に要する経費の一部助成（7社）
- ・海外バイヤー招聘商談会：10月1～3日（茶市場等）
商談会：バイヤー27社、県内茶商等10社
茶団地視察（JA茶業、茶市場）、産地視察（霧島市）、茶会
- ・「かごしま茶」海外プロモーション活動への参画（10月：欧州、12月：米国）
- ・在米コンサルタントの活用（Kentree Co. Ltd. 代表 溝呂木 賢）
- ・情報の発信（英文HP等）

(3) 茶市場運営事業

新茶初取引会、献茶祭、新春初取引会等の茶市場の催事を開催するとともに、出荷者、買受人、卸売業者との連携のもと、茶市場運営委員会を開催し、円滑な茶市場運営と荒茶流通拡大を図った。

3 債権損失補償事業（収益事業会計）

県産茶の流通の円滑化と本県茶業の経営安定化を図るために、県内及び県外茶市場の卸売業者が買受人（県内24社、県外133社）間で行う取引によって生じた債権の損失を損失補償限度額内で補償する業務を行ったが、損失の発生もなく、取引を無事終了することができた。

4 管理事業（法人会計）

理事会4回、総会1回開催し、公益法人としての適正な管理運営に努めた。